
窓恋・・・

prilla

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

窓恋・・・

【Nコード】

N1805F

【作者名】

prilla

【あらすじ】

かえで主人公楓は子育てを終えたシングルマザー。ふとしたことから、ネットで生きていくことになる。

四角い窓の向こう・・・（前書き）

楓はどこにでもいる一見すると平凡な女性。でも、非凡な人生を歩むことに・・・。

四角い窓の向こう・・・

〈序章〉

どうしたらいいの？
何がいけなかったの？

「このところ、
ちよつと楓とかえでの
距離感が微妙。
毎晩遅くまで
メッセとかで
ちよつと
疲れてたみたい。
お互いうまく
コントロール
できるといいけど。」

いきなりこんな
メール・・・。

何が真まことを変えたの？

* 出会いは突然？・・・

出会いから、
出逢いに変わるまで
時間は
かからなかったね・・・。

まこと
真と出会ったのは
まだ、
梅雨入り前だった
かしら？

* 窓の向こう・・・

どちらから声を
かけたのか、
お互いに記憶は
定かではなかったけれど
自然？
偶然？
必然？
引き付け合う
何かを感じたから
かしら？

* これが始まり・・・

「おはようございます。
購読ありがとうございます^^」

「ありがとう

ございました。
購読通知メールが
来てるんですね。
なぜか私には
通知メールが
一切来ないので
購読もPTも
分からない><

このやりとりが
出会いだった・・・。

それから、
「東京ラブストーリー」
の話をして、
柴門ふみさんと
ご主人の
弘兼さんの話で
盛り上がったのが
出会って二日目・・・。

そう言えば、
「いつ頃から
僕のことを
意識してた？」
って真は聞いたけど、
今、思えば、
この頃から、
私は真を
意識していたのかも

しれない……。
と、楓かえでは思った。

* それから・・・

一月半ほど他愛のない
会話が続いた。
音楽の話や猫の話。
時折、
プライベートトークを
交えながら・・・。

実は、この時、
楓かえでには心寄せる
男性がいた……。
浩介こうすけに健二けんじ……。
別に二股をかけていた
というわけではない。

浩介こうすけも健二けんじも
楓かえでにとっては
大切な存在であった。
二人には、
ネットを通して知り合った。

まずは浩介こうすけとの出会いが
なければ、
健二けんじとの出会いも

存在しなかった。

いやいや、その前に、
かえで楓には、
しゅん俊という

忘れてはならない
人がいたのだ・・・。

まこと真という存在に
行き着くまでの

2年半、
かえで楓が過ごした日々を
振り返らねば・・・。

第一章

かえで
＊楓・・・

かえで楓は、子育てを終えた
シングル・マザー。
夫との
結婚生活は9年。
もう別れてからの
年数のほうが
長くなっていた。

以前の職場で

15歳も年下の彼と
知り合い
交際^{つきあ}っていたが
その年下の彼とも
6年の交際を経た後、
別れていた。

そんな時だった。
楓^{かえで}は、PC教室に
通い始め、
【ブログ】と出会う。
流行^{かえで}ものの好きな楓。
好奇心から
始めたのではあるが、
これが、
一つの出会いを
連れてきたのであった。

真^{まこと}と出会う2年半前。
まずは、
楓^{かえで}は、
俊^{しゅん}と出会う。

楓^{かえで}がブログを始めて
3日目に
俊^{しゅん}がコメントをくれた。
「絵^え里^りさんの
ところから飛んで
きましたw

お互いにシングル同士
友達になりませんか？」
まだブログを始めて
間もない楓^{かえで}は
とにかくコメントが
嬉しくてしかたない。
急いで俊^{しゅん}のところへ
飛んだ。

しかし、その書き込みは
【キャバクラ】の
面接の記事。
楓^{かえで}はどう

コメントすればいいのか
しばし悩んだ。
悩んだ末、
「キャバ嬢は無理なので、
洗い場で雇って
いただけませんか？」
とコメントをした。

すぐにレスがあるのかと
何度も俊^{しゅん}のところを
訪問したが、
音沙汰がない。
ただのヒヤカシか、
と思った。

しかし、翌日だった。
その俊^{しゅん}から

非公開でメアドが
送られてきたのだった。
携帯ではなくPCの
アドレスではあったが、
ネット経験のない
かえで
楓には
新鮮で刺激的だった。

* 楓と俊・・・

俊と出会ってから
楓の毎日は一変した。
朝早くから、
夜遅くまで、
PCと向き合うだけでなく、
携帯メールのやりとりも
始まった。

俊はすでにネット歴
10数年・・・。
一方、楓は、
携帯は子供たちとの
連絡用でしか
なかったから、
俊についていくのが
やっと・・・。
それでも、
負けず嫌いの楓は
必死に俊についていった。

そうそう、

楓は俊と同時に

絵里や

ちか
千佳、

ふみお
文夫とも

親しくなった。

毎日、5人で

サイト内だけでなく、

メッセやスカイプを

して楽しい日々が

過ぎていこうとしていた。

* いつの頃からか・・・

楓と俊は

お互いの境遇を

話始めたことで

急速に近づいていった。

楓の離婚は、

世間では

借金が原因と言われているが

実は、そんなことで

別れたわけではない。

俊の離婚は、

俊の妻の不倫が

原因だった。

俊が釣りから帰り、

ふと、妻が

ダイニングテーブルに
置いていた財布から
覗いていた領収書。
見なければ俊の
離婚はなかったのかも
しれない。
いや、遅かれ早かれ
離婚に至っていたのかもしれないが、
その時離婚をしていなければ、
俊の娘は救えたのかもしれない・・・。

＊俊の娘、理沙^{りさ}

理沙の左手手首には
無数の傷があつた。
楓がそのことを聞いたのは
楓が楓の娘の事件を
俊に話したすぐ後だつた。

「そんなもん、
越えられる壁じゃん！」
「えっ？」

嫁入り前の娘が
レイプされたのよ？
越えられないわよ・・・。」

「俺の娘に較べたら、
いくらでも越えられる壁さ・・・。」

「理沙ちゃん、苛めにでも
あつているの？」

「そんなもんじゃないっていつてるだろう？」

いつもは穏やかで

明るい口調の俊の

語気がこの時は

激しかった。

そろそろ年の瀬が

迫る12月の夜だった。

* 俊から求められたのは・・・

楓は俊に言った。

「何があつたの？」

話してよ・・・。」

「メッセやメールで

話せるようなことじゃないよ」

「じゃ、会えば

話してくれるの？」

「会うだけじゃダメだ。」

「えっ？」

会うだけじゃダメって？

どういうこと??？」

「俺と寝る。」

それが条件だ。」

「・・・。」

* 俺と寝ろ・・・

楓は返事ができなかった。

15歳年下の彼とは

ちゃんと肉体関係もあつた。

でも、それは30代の

頃の楓の肉体を

知った上で

衰えゆく肉体を

愛してくれていた。

しかし、今、40代の

後半と差し掛かり、

もはや、男性と

寝るという行為など

あり得ないと

思っていた楓にとって

即答できるはずもなかった。

いや、それと

俊が本気で言っているのかも

わからなかった。

「俺と寝ろ。」

そんな言葉

今まで何人かの男性と

交際^{つきあ}ってきたけれど

言われたことなど楓には

なかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1805f/>

窓恋・・・

2010年10月11日21時10分発行